



鹿児島県立甲南高等学校

進路指導室だより

平成27年度 第4号 (8月27日発行)

今回は趣向を変えて2つの詩を紹介します。

念ずれば花ひらく

念ずれば
花ひらく

苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ
ひらいていった

坂村真民

この「念ずれば花ひらく」はおそらく1度は耳にしたことがある言葉だと思います。君たちはこの詩を読んでどのような思いをめぐらしたのでしょうか。詩というものは、生きてきた背景や思想によって受け取り方や感じ方は変わるものですが、おそらく誰もが自分の夢や目標に向かって頑張ろうという気持ちが湧いてくるような感覚をもったのではないのでしょうか。

とても簡潔な詩ですが、心にぐっとくるものがありますね。これからの君たちの人生にこの詩をどのようにあてはめていくか。「念ずる」とは？「花」とは？この抽象的な言葉をより具体的に捉え、君たちがそれぞれの色や種類の花をたくさん咲かすことができるよう精一杯生きていってほしいと思います。

また、この詩をとおしてあらためて言葉の力というものを感じました。自分を奮い立たせる言葉や相手を思いやる言葉など、言葉によって人の心を大きく変えることができます。ですから、君たちがこの言葉の持つ力を実感できた時こそ、自分の成長へと繋がっていく時なのです。

さて、作者の坂村真民氏は「人生の師」と仰ぐ人が各界各層にいるほどの著名な詩人です。「人はどう生きるべきか」を命題に人間としての在り方を深く掘り下げ、誰にでもわかる言葉で表現された作品が特徴です。著書もたくさんありますので、ぜひ他の作品も読んでみてください。



なんどもなんども

作者不明

なんども なんども 繰り返す
なんども なんども 繰り返す なんども なんども
なんども なんども 繰り返すと はずみがつく
なんども なんども 繰り返すと 勢いがつく
はずみがつき 勢いがつくと おもしろ味がでてくる
どうしようもない人間が あたりまえの人間になるには
ただ なんども なんども 繰り返すことだ
あたりまえの人間が 専門家といわれる 人間になるには
同じ事を なんども なんども 繰り返すことだ
専門家といわれる人間が 秀才や天才と呼ばれる
人間になるには
唯一の道は 激しく 熱心に
なんども なんども 繰り返すことだ
激しく熱心に なんども なんども 繰り返すうちに
力が集まり 充実し 熟してくる
期の熟したものは 何でもおもしろく うまいものだ

「なんどもなんども」とややくどい感じがしますが、読んでいくうちに何となく納得させられる詩です。少しでも早く成果が欲しいと思うのが人間の性ですが、この詩によってはっとさせられます。そして、なんどもなんどもやってみようという気にさせてくれます。あのエジソンも電球のフィラメントを発明するのに1万回以上の失敗を繰り返したといわれています。大きく太い幹を作るためには繰り返すことが大切なんですね。3年生は受験に向けて、1, 2年生は日常の様々なことにあてはめて、自分の力となるまで、更に「うまい」と実感できるようになるまで、なんどもなんども繰り返していきましょう。

☆進路指導室・進路資料室・進路掲示板が移転しました☆

校舎改築の関係で進路指導室は東校舎2階旧習熟度G(地歴職員室隣)、進路資料室・進路掲示板は東校舎2階旧習熟度F(2年5組隣)に移転しました。特に1, 2年生には不便になるかもしれませんが、進路資料室をこれまでどおり利用してください。

☆センター試験出願準備開始☆

3年生は9月からいよいよセンター試験の願書を記入し出願します。あとセンターまで5ヶ月弱。頑張れ3年生!! 1, 2年生は先輩達を応援しつつ、先輩達の頑張りをしっかり目に焼き付けておこう。

